

特定非営利活動法人 石川県自然史センター

第34回公開シンポジウム

能登半島地震による自然環境の変貌

～能登半島における自然環境の学術的価値をふまえて地震被害地の復興支援を目指す～

2024年元日に発生した能登半島地震は、地域の暮らしや経済に大きな影響を与えただけでなく、自然環境や生態系にも多大な変化をもたらしました。そして2025年は復興元年とされ、様々な復旧・復興事業が進められます。しかし復興を進める中で、ただ元の状態に戻すだけでなく、地域の魅力をさらに高め、持続可能で未来に誇れる地域づくりを目指すことが求められています。そのためには、森林や河川、水田そして海に至るまで生態系保全への配慮や、自然と共生する魅力ある里山里海景観の創出が重要となります。

本シンポジウムでは、これまで地震直後から研究を行ってきた専門家に報告をいただき、地震の自然環境への影響を科学的に検証しながら、魅力ある地域づくりに向けた実践的なアイデアを共有する場としたいと考えております。是非多くの皆さんにご参加いただき意見交換を行うことで、未来の地域復興の道標となることを願っております。

日時 令和7年3月1日（土） 午後1時30分～3時30分

場所 石川県立自然史資料館 2階コミュニケーションホール

テーマ 能登半島地震の自然環境への影響を把握して被害地の復興支援を考える

- ねらい
- ① 能登半島地震が自然環境に及ぼした影響を把握する。
 - ② 能登半島の自然環境の学術的価値を再評価する。
 - ③ 上記をふまえて能登半島地震被害地の復興支援を考える。

内容 **基調講演**

2024年能登地震および奥能登豪雨により発生した大地の変化

石川県立大学特任教授 柳井 清治 氏

報告

- ① 隆起した岩礁海岸における沿岸生物の生存状況
のと海洋ふれあいセンター 荒川 裕亮 氏
- ② 隆起した海底に見られる陸上植物の一考察
石川県巨樹の会 高木 政喜 氏
- ③ 能登半島地震が水田生態系に及ぼす影響
珠洲市自然共生室 宇都宮 大輔 氏

コーディネーター 石川県自然史センター理事 平口 哲夫 氏

この公開シンポジウムは、2023年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施されます。